

平成25年度 加茂市・南蒲原郡 生活科部

「一人一人の思いや願いを育むための教材開発」

加茂市・南蒲原郡 生活科部 研究部長
加茂市立石川小学校 教諭 大岡まり子

1 はじめに

今年度は、「活動計画立案（5月）」「教育課程伝達講習会・実技講習会（8月）」の3回の活動を行った。以下、8月に行った実技講習会についてその概要を記していく。

2 実技講習会

(1) 期日 8月27日（火） 14:30～16:00

(2) 会場 加茂市石川小学校会議室

(3) 参会者 生活科部員 8名

(4) 内容 実技講習会「動くおもちゃづくり」

講師 加茂地区理科教育センター 協力員 佐々木 一夫 様

3 研修の概要

昨年度は、身近にあるものを使ったおもちゃづくりを研修した。今年度は、身近にある物を使って子どもが楽しんでおもちゃを作り、生活科の授業に生かしたいという意見が出された。そこで、理科教育センターの佐々木一夫先生を講師として迎え、実技講習会を行った。

まず、今回の研修内容が、学習指導要領の目標や内容とどのようにかかわっているかをご指導いただいた。

次に、身近にある物を使って遊ぶものを工夫して作る実習を行った。ポリ袋と段ボールで「パタパタフォークラフト」、風船とストローで「おなら笛」の2種類のおもちゃを作り、実際に動かし、改良をしながら意欲的に制作した。

また、桐材を使って2学期に使えるような教室の飾りなどを思い思いに制作した。

子どもたちの「つくってみたい」「やってみよう」という意欲を引き出すには十分魅力的な教材であり、しくみが簡単で改良しながら活動に浸ることのできる教材開発の研修であった。



「おもちゃを作って、試行している部員」

4 研修を振り返って

今回の研修では、身近にある材料を使い、子どもたちが自分で簡単に作ることができるしくみで、改良したり競ったりする遊びの楽しさを引き出すことのできる教材づくりを行った。子どもたちが「つくってみたい。やってみよう。」と意欲を持ち、実際に操作し友達とかかわりながら、ものを作る楽しさを味わうことのできる教材であった。また、加茂の工芸品から出る桐材に注目し、加工しやすい材料を教えてください参考になった。